|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 和名 | ホウオウボク | 科名 | マメ科 |
| 学名 | *Delanix regia* |
| 英名 | Flame of the forest | インドネシア名 | Flamboyan |
| 原産地 | マダガスカル | 用途 | 染・材・観・樹脂・薬 |

整った傘形の自然樹形で、大きな葉が多数出るので、樹下は夏でも涼しく、熱帯地方では、憩いの場になります。

葉は羽状複葉、シダに似て、涼しげです。

開花期には、樹冠いっぱいに真っ赤な美しい花を咲かせます。その花が風に揺られると、鳳凰が羽ばたく姿に似ていることから、鳳凰の木＝「ホウオウボク」と呼ばれています。

　花後に、枝からぶら下がるように、青く大きな剣状の莢（さや、豆果）がなります。

　花は染料、樹液はアラビアゴムの代用になり、材は用材として使われます。

樹皮はリュウマチの治療に、花は気管支関係の病気に、また実の中には20～40対の種があり、フラボノイドが含まれていることから、薬用として使っているところもあるようです。